

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 3 月 29 日

事務事業名		市民参加型イベント開催支援事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	050302000959	
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独		050301	
政策体系	総合計画の施策名	0503 観光の振興		主要事業		所属課		商工観光課		
	政策名	05 魅力と活力のある産業社会づくり		市長マニフェスト						
	施策名	03 観光の振興		未来PJ事業		グループ		商工観光グループ		
	基本事業名	02 観光資源の充実・開発		合併建設計画事業						
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	07	01	05	00	00	単年度繰返し (平成18年度~)			
法令根拠							← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>平成26年度まで、市民祭inいわせと市民祭inまかへの2つのイベントを実施してきたが、平成27年度は合併10周年記念市民祭として合同で開催した。市民参加型のイベントを実施することで、市民の融和を図るとともに、郷土文化に対する愛着と誇りを高めることを目的としている。</p> <p>具体的には、実行委員会を開催し、当年度の催事内容及び運営方法について商工会・行政団体・市民団体と協議を行い、イベントの計画から運営までの活動支援を図る。</p> <p>また、市ホームページや市広報紙、全戸にチラシを配布するなど広く周知し参加を呼びかける。催事内容としては、地元商工会会員による出店をはじめ、世界みかげ石引き選手権大会・そばまつり・よさこいフェスタin桜川・健康まつり・変わり型自転車などを実施している。</p>	<p>○市補助金申請書の受付、交付決定、支払い、実績報告書等の事務全般、及び実行委員会全体の運営</p> <p>○会場内の準備全般及び会場周辺駐車場の整備・案内板の設置</p> <p>○ステージイベント出演者の依頼及び調整</p> <p>○チラシ印刷及び会場設営(イベント会社委託)に伴う契約業務、保健所へ関係書類の申請業務</p> <p>○市ホームページ・市広報紙への掲載、及びチラシの全戸配布などの広報PR等</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
実行委員会事務局としてイベント運営全般の業務に携わる。	参加団体数	団体	16.00	28.00	28.00	28.00	28.00
	会議回数	回	2.00	3.00	3.00	3.00	3.00
	催事数	回	12.00	15.00	15.00	15.00	15.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
市民	人口	人	43,190.00	42,651.00	42,165.00	41,679.00	41,193.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
市民参加型のイベントを開催することにより、市民の融和を図る。	人	人	6,000.00	7,000.00	7,000.00	7,000.00	7,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入	事業費	内訳	単	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
量	費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	7,500	6,500	0	0	0
	事業費計(A)	千円	0	7,500	6,500	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	0.00人	5.00人	5.00人	0.00人	0.00人		
	述べ業務時間	時間	0.00	700.00	700.00	0.00	0.00		
	人件費計(B)	千円	0	2,031	2,031	0	0		
トータルコスト(A)+(B)				千円	0	9,531	8,531	0	0

事業費の内訳	27年度事業費 実績(千円)				28年度事業費 予算(千円)			
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	19 負担金補助及び交付金	7,500			19 負担金補助及び交付金	6,500		
	合計	7,500			合計	6,500		

(4) 当該年度の実施内容	28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	市民参加型イベント開催支援事業	事務事業No.	50302000959	所属課	商工観光課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
<ul style="list-style-type: none"> ・合併前から実施していた「町民祭」や「商工祭」が、合併を機に「桜川市民祭」と名称を変更して開催した。平成28年度からは4月の山桜時期に開催し、観光的イベントとして「SAKURAフェスティバル」に生まれ変わるようになっていく。 ・5年前と比べると市外の来場者も増えているようである。 	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
<ul style="list-style-type: none"> ・市制施行10周年記念市を機に市民祭を今後も1か所で開催してはどうかとの声もあったが、岩瀬と真壁で隔年ごとに開催してはどうかとの声もある。 ・会場周辺の路上駐車をなくしてほしいとの要望がある。 	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
	イベントの開催時期や会場の場所、市外へのPR方法などを見直し、市制施行10周年記念式典に合わせて開催することで、桜川市で1つの大きなイベントとして実施した。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 観光の振興やイベントの充実が図られ、市外からの来場者も増えてきており結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ・市民参加型のイベントを開催することで、市民の融和を図るとともに、郷土文化に対する愛着と誇りを高めることを目的としていることから妥当である。毎年楽しみにしている市民の方も多数いる。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ・開催時期や催事内容、会場レイアウトなどを見直すことで、来場者が興味を持つようなイベントを開催する事が出来ることから向上余地はある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ・市民同士の融和が図られなくなると共に、観光イベント及び商工業PRの場が減ってしまい影響が出る。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/>
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 商工会などの関係団体と更に連携を図ることにより、効率的な運営ができる余地はある。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である ・全市民が対象であるので公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	・市民祭の運営方法について協議したいとの要望があったため、次年度以降の開催について話し合いを持つ予定である。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加		○													
成果	向上 維持 低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
	○																									
<ul style="list-style-type: none"> ・市民祭を一つに統合した場合、開催場所や時期について課題となるため、最善策をとれるようアンケートなどを活用して実行委員会で協議する。 ・平成28年度からSAKURAフェスティバルとして開催するが、4月開催の定着化と集客が課題であり、桜川市観光協会や地元市民団体との連携を図り、山桜を軸として回遊性を持たせて呼び込んでいく。 		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ② コスト削減優先度評価結果 ⑦																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>